

### 3 衛生科学班

衛生科学班は、市民の食の安全と良好な生活環境を守るため、熊本市総合計画や熊本市食の安心安全・食育推進計画等に沿って食品や飲料水等の理化学検査を行っています。

また近年、市民の食に対する関心が高まっていることから、食品中の残留農薬等や残留動物用医薬品に対応する検査機器を設置し、検査を行っています。

検査別の検査件数を表 12 に、依頼課別の検査件数を表 13 に示します。

#### (1) 食品の理化学検査

食品保健課及び食肉衛生検査所並びに健康教育課からの依頼により、食品中の残留農薬や動物用医薬品等の検査を 403 検体、延べ 13,732 項目について行いました。

##### ア 野菜、果実の残留農薬検査

ポジティブリスト制度の導入に伴い、当センターでは、熊本県内で使用されている農薬や国産農産物からの検出割合の高い 214 項目の農薬を選定し、ガスクロマトグラフ質量分析装置を用いた一斉試験法で検査を行っています。(表 14)。

熊本市内で流通しているピーマンやトマト等の農産物 75 検体について、延べ 11,600 項目の検査を行い 10 検体から農薬が検出されましたが、基準を超えたものはありませんでした。検出された農薬は農薬取締法で検出農産物に適用登録されているものです。

##### イ 動物用医薬品検査

食肉センターに持ち込まれた家畜の中から 160 頭の家畜(豚 120 頭、牛 20 頭、馬 20 等)を抽出し、腎臓及び筋肉について県内で使用量の多い 12 項目(一部 11 項目)の動物用医薬品(表 12、表 15)のモニタリング検査を行いました。160 検体について延べ 1,880 項目の検査を行った結果、動物用医薬品はいずれも検出されませんでした。

また、食肉衛生検査所の簡易検査で動物用医薬品の残留が疑われた豚 4 頭と馬 1 頭の腎臓と筋肉の検査を行った結果、アンピシリン、ベンジルペニシリンが検出されました(表 16)。

##### ウ アレルギー検査

食品製造過程におけるアレルギー物質の混入を防ぐため、表示義務がある 7 品目のアレルギー物質(えび、かに、小麦、そば、卵、乳、落花生)のうち卵について、市内の製造所で製造されている食品 5 検体の検査を行いました。結果はすべて陰性でした。

##### エ 食品添加物、乳規格等検査

ソルビン酸(保存料)等の食品添加物の検査を 72 検体、延べ 89 項目について行いましたが、基準値を超えたものはありませんでした。また、牛乳やアイスクリーム等の乳製品 6 検体 11 項目について乳規格検査を行いました。また、清涼飲料水 4 検体について重金属(カドミウム、すず、ヒ素、鉛)や、さらし餡等 4 検体についてシアン化合物の検査を行いました。全て不検出でした。

## オ 放射性物質検査

食品保健課及び健康教育課からの依頼により青果物等 71 検体について放射性セシウムのスクリーニング検査を行いました。すべて不検出でした。

## カ 食品の苦情等

食品の苦情 1 件について、1 検体、2 項目の検査を実施しました。苦情の内容は、表 17 に示します。

### (2) 家庭用品及び器具、容器包装の検査

繊維製品に防しわ性、防縮性などの目的で、ホルムアルデヒドを含む樹脂による加工が行われていますが、これらから発生するホルムアルデヒドにより皮膚障害を起こすことがあります。

また、家庭で使用される洗浄剤は成分により皮膚の粘膜に炎症を起こす性質があるので「有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律」で規制物質とその含有量が定められています。

このため、生活衛生課からの依頼により出生後 24 月以内の乳幼児用の繊維製品 40 検体についてホルムアルデヒドの検査を、家庭用洗浄剤 5 検体について水酸化ナトリウム含有量の検査を行いました。全て基準に適合していました。

また、健康教育課からの依頼により、給食用食器 2 検体について重金属等の溶出試験を行いました。すべて基準以内でした。

### (3) 飲料水、プール水、浴槽水等の水質検査

生活衛生課からの依頼により、プール水 33 検体について、延べ 165 項目の検査を行いました。基準を超えるものはありませんでした。同様に浴槽水 174 検体について、延べ 696 項目の検査を行いました。基準を超えるものはありませんでした。

また、社会体育課や公園課等の依頼により、プール水や浴槽水、井水、湧水等市の施設の維持管理に伴う検査を行いました。

さらに今年度は、平成 24 年 7 月に発生した九州北部豪雨の際に、12 検体について「災害時における飲用井戸水等の水質検査実施要領」に基づき水質検査を行いました。

### (4) 精度管理事業（GLP 関連）

検査結果の信頼性を確保するために、標準試薬類の整備および検査の標準作業書、記録書等の作成整備を行いました。また、食品薬品安全センターが行う外部精度管理調査に参加し、食品添加物（ソルビン酸の定量、着色料の定性）及び動物用医薬品（スルファジミジンの定量）について 3 回（3 検体 3 項目）の検査を行いました。

表 12 検査別の検査件数

区分		検体数	項目数	備考
食品検査	残留農薬検査	75	11,600	野菜・果実
	動物用医薬品検査	170	1,939	食肉(内ニケツク <sup>1</sup> 160 検体 1,880 項目)
	アレルギー検査	5	5	食肉製品、菓子
	食品添加物検査	72	89	油、生麺、魚肉練り、食肉製品、味噌、醤油、野菜水煮、煮豆・佃煮、漬物 等
	乳規格検査	6	11	牛乳、生乳、発酵乳、アイス
	重金属等検査	4	16	清涼飲料水、餡
	放射性物質検査	71	71	野菜、果実等
	食品苦情等	1	2	果実
	その他	4	4	
小計		408	13,737	
水質検査	飲料水検査	52	471	井戸水等
	浴槽水・プール水等検査	348	1,301	
小計		400	1,772	
その他	家庭用品検査	45	45	衣類、洗剤
	器具・容器包装検査	2	4	皿、椀
	飲用井戸水水質検査	12	108	要領( 1 )の対象井戸水
	精度管理	3	14	食品添加物、動物用医薬品
小計		62	171	
合計		870	15,680	

1 「災害時における飲用井戸水等の水質検査実施要領」

表 13 検査依頼課別の検査件数

依頼課	検体数	項目数	備考
食品保健課	168	11,727	食品
生活衛生課	254	908	家庭用品、プール水、浴槽水、温泉飲用水
食肉衛生検査所	170	1,939	食肉
農業政策課	5	5	食品
障がい保健福祉課	6	24	浴槽水
食肉センター	48	438	井戸水、ウォータークーラー
競輪事務所	2	6	プール水
五福まちづくり交流室	12	36	プール水
幸田総合出張所	1	8	ウォータークーラー
龍田出張所	1	8	飲料水
東部出張所	1	8	飲料水
東部土木センター	2	12	飲料水、プール水
北部土木センター	1	3	プール水
河川公園課	11	99	湧水、プール水
スポーツ振興課	101	252	プール水、ろ過水、ウォータークーラー
健康教育課	67	70	食品、容器
消防課	5	15	プール水
その他	15	122	精度管理、九州北部豪雨に係る井戸水
合計	870	15,680	

表 14 検査対象農薬一覧表

番号	農薬名	番号	農薬名	番号	農薬名
1	E P N	41	カルボキシシ	81	ゾキサミド
2	TCMTB	42	キナルホス	82	ターバシル
3	XMC	43	キノキシフェン	83	ダイアジノン
4	アクリナトリン	44	キノクラミン	84	チオベンカルブ
5	アザコナゾール	45	キャブタン	85	チフルザミド
6	アジンホスメチル	46	キントゼン	86	テクナゼン
7	アセタミプリド	47	クレソキシムメチル	87	チオメトン
8	アセトクロール	48	クロマゾン	88	テトラクロルピホス
9	アトラジン	49	クロルタルジメチル	89	テトラコナゾール
10	アニロホス	50	クロルピリホス	90	テトラジホン
11	アメトリン	51	クロルピリホスメチル	91	テニルクロール
12	アラクロール	52	クロルフェナビル	92	テブコナゾール
13	イサゾホス	53	クロルフェンピホス	93	テブフェンピラド
14	イソキサチオン	54	クロルブファム	94	テフルトリン
15	イソフェンホス	55	クロルプロファム	95	デメトン-S-メチル
16	イソプロカルブ	56	クロルベンジレート	96	デルタメトリン及びトラロメトリン
17	イソプロチオラン	57	シアナジン	97	テルブトリン
18	イプロベンホス	58	シアノホス	98	テルブホス
19	イマザメタベンズメチルエステル	59	ジエトフェンカルブ	99	トリアジメノール
20	イミベンコナゾール	60	ジクロシメット	100	トリアジメホン
21	エスプロカルブ	61	ジクロフェンチオン	101	トリアゾホス
22	エタルフルラリン	62	ジクロホップメチル	102	トリアレート
23	エチオン	63	シハロトリン	103	トリシクラゾール
24	ジクロラン	64	シハロホップブチル	104	トリブホス (DEF)
25	エディフェンホス	65	ジフェナミド	105	トリフルラリン
26	エトキサゾール	66	ジフェノコナゾール	106	トリフロキシストロピン
27	エトフェンブロックス	67	シフルトリン	107	トルクロホスメチル
28	エトフメセート	68	ジフルフェニカン	108	トルフェンピラド
29	エトプロホス	69	シプロコナゾール	109	ナプロバミド
30	エトリムホス	70	シベルメトリン	110	ニトロタルイソプロピル
31	エンドスルファン	71	シマジ	111	ノルフルラゾン
32	オキサジアゾン	72	ジメタメトリン	112	パクロブトラゾール
33	オキサジキシル	73	ジメチルピホス	113	パラチオン
34	オキシフルオルフェン	74	ジメテナミド	114	パラチオンメチル
35	オリザリン	75	ジメトエート	115	ハルフェンブロックス
36	カズサホス	76	シメトリン	116	ピコリナフェン
37	カフェンストロール	77	ジメビレート	117	ビテルタノール
38	カルバリル	78	シラフルオフェン	118	ビフェノックス
39	カルフェントラゾンエチル	79	スピロキサミン	119	ビフェントリン
40	カルプロバミド	80	スピロジクロフェン	120	ピペロホス

番号	農薬名	番号	農薬名	番号	農薬名
121	ピラクロホス	161	フルシトリネート	201	ミクロブタニル
122	ピラゾキシフェン	162	フルチアセツトメチル	202	メタミドホス
123	ピラゾホス	163	フルトラニル	203	メタラキシル及びメフェノキサム
124	ピラフルフェンエチル	164	フルトリアホール	204	メチダチオン
125	ピリダフェンチオン	165	フルバリネート	205	メトキシクロル
126	ピリダベン	166	フルミオキサジン	206	メトブレン
127	ピリフェノックス	167	フルミクロラックペンチル	207	メトミノストロピン
128	ピリブチカルブ	168	フルリドン	208	メトラクロール
129	ピリプロキシフェン	169	プレチラクロール	209	メビンホス
130	ピリミノバックメチル	170	プロシミドン	210	メフェナセツト
131	ピリミホスメチル	171	プロチオホス	211	メフェンビルジエチル
132	ピリメタニル	172	プロバクロール	212	メプロニル
133	ピロキロン	173	プロバジン	213	モノクロトホス
134	ピンクロゾリン	174	プロバニル	214	レナシル
135	フィプロニル	175	プロバルギット		
136	フェナミホス	176	プロピコナゾール		
137	フェナリモル	177	プロビザミド		
138	フェニトロチオン	178	プロヒドロジャスモン		
139	フェノキサニル	179	プロフェノホス		
140	フェノチオカルブ	180	プロボキスル		
141	フェノトリン	181	プロマシル		
142	フェノブカルブ	182	プロメトリン		
143	フェンアミドン	183	プロモブチド		
144	フェンスルホチオン	184	プロモプロビレート		
145	フェンチオン	185	プロモホス		
146	フェントエート	186	ヘキサコナゾール		
147	フェンバレレート	187	ヘキサジノン		
148	フェンブコナゾール	188	ベナラキシル		
149	フェンプロバトリン	189	ベノキサコル		
150	フェンプロビモルフ	190	ベルメトリン		
151	フサライド	191	ベンコナゾール		
152	ブタクロール	192	ペンディメタリン		
153	ブピリメート	193	ベンフルラリン		
154	ブタミホス	194	ベンフレセート		
155	ブプロフェジン	195	ホサロン		
156	フラムプロップメチル	196	ホスチアゼート		
157	フラメトピル	197	ホスファミドン		
158	フルアクリピリム	198	ホスメット		
159	フルキンコナゾール	199	ホレート		
160	フルジオキサニル	200	マラチオン		

表 15 検査対象動物用医薬品一覧表

分類	物質名	分類	物質名
キノロン系	ダノフロキサシン	サルファ剤系	スルファジミジン
	エンロフロキサシン		スルファモノメトキシシ
	サラフロキサシン		スルファジメトキシシ
	オルビフロキサシン		スルファキノキサリン
マクロライド系	チルミコシン	その他合成抗菌剤	フロルフェニコール
リンコサミド系	リンコマイシン	抗炎症剤	デキサメタゾン

表 16 簡易検査で動物用医薬品の残留が疑われた検体の検査結果

	結果	参考(処置)
豚	腎臓：ベンジルペニシリン 0.23ppm (基準値 0.05ppm)	と畜場法により全廃棄
	腎臓：ベンジルペニシリン 0.34ppm (基準値 0.05ppm)	
	腎臓：アンピシリン 9.1ppm (基準値 0.009ppm)	食品衛生法により腎臓のみ廃棄
	腎臓：ベンジルペニシリン 0.08ppm (基準値 0.05ppm)	
馬	腎臓：ベンジルペニシリン 0.29ppm (基準値 0.01ppm)	と畜場法により全廃棄

表 17 苦情等検査

事例	検体名	苦情内容	検査項目	検査結果
1	ぶどう	房を食べた時に、少し口の中がピリピリした。	有機リン系・加バメト系農薬、有機りん系農薬	いずれも不検出